

## 9/20 大利白山神社で秋の例祭が執り行われました

大利白山神社で秋の例祭が執り行われました。新型コロナウイルス感染症対策を講じたうえで、3年ぶりの開催となりました。神事終了後、大利敬神団による祈禱舞が奉納されました。

祈禱舞は、悪魔退散、家内安全など人々に幸いをもたらすための演目でもあり、今年の恵みに感謝し、新型コロナウイルス感染症の収束を願いながら参拝された一人一人を浄め、平穩を祈り演目は終了しました。

大利では、村内で唯一の『男田植え』があり、1月15日の幕納めのあとに田植え唄を歌い、全戸を門付けし豊作を祈願する風習が残されていますが、新型コロナウイルス感染症の影響で制限なしでの開催は出来ていないため、『門打ち』『幕開き』『幕納め』『田植え餅つき踊り』などの伝統芸能が無事行えることを願っております。



神事の様子



大利敬神団による権現舞



一人一人を浄める様子

## 9/27 東通小5年生『秋空のもと、稲刈り体験！』

東通小学校では、総合的な学習『東通科』の一環として、毎年5年生の児童が、地元農家の協力のもと、村内目名地区にある田んぼで米作りを学んでいます。

春に植えた稲が収穫の時期を迎え、東通小学校5年生46名が、稲刈り体験をしました。鋸鎌(のこかま)を使った昔ながらの手作業で挑み、不慣れな作業に悪戦苦闘しながらも、すべて刈り終えることができました。

「今までしたことのない新しい体験をさせてもらったので、今日は楽しかったです」「コンバインの運転席が思ったより高さがあったってビックリした」など児童達からは、充実した様子が伺えました。

収穫した稲は、乾燥させてから脱穀と精米作業が行われます。その後『寒立米(かんだちまい)』として、東通小学校と交流事業を行っている浮間小学校へ提供されるそうです。美味しい新米まであと少し、待ち遠しいですね！



稲刈りの説明を受ける児童達



稲刈りって結構難しい！



みんなで協力して頑張ろう！